

# 市民交流センター（ニコリ）の整備・運営について（山梨県韮崎市）

## 取組概要

旧商業施設を、新たな市民文化を創造する拠点施設「市民交流センター」として活用を行った。施設には「多くの市民が集い、広範囲な分野において市民が交流できる場」となるよう、医療・保健・福祉・教育・サービス・飲食系を中心とするテナントを入居させ、また、施設管理については指定管理者制度を導入し運営を行っている。

平成28年度には、中・高校生が自ら様々なイベントを企画・実施するための拠点として「青少年育成プラザ」を地下1階に整備し、中高生同士の交流の場として活用されている。

人口 30,045人 (H30.1.1現在)

担当 総合政策課

## 取組の効果

世代を超えた多くの人々が気軽に立ち寄れる憩いの場として、また、様々な交流やコミュニティ活動を楽しめる場、生涯にわたって学べる場として、多くの人が集うまちなかの交流拠点としての役割を果たしている。

さらには、ふるさと偉人館や韮崎大村美術館サテライトスペース、観光案内所、地域特産品コーナーなどとの連携により、地域情報の発信基地として市のPRにも効果を発揮している。



入居団体等の出店による「NIRAマルシェ」

## 創意・工夫した点

施設には様々な団体が入居しているため、スムーズな施設運営を行うためには情報の共有化が重要になるが、全体を管理運営する者(市民交流センター指定管理者)を中心に行政担当者も入れた「運営協議会」を組織し、毎月定例会を開催することにより、入居団体や市民の要望把握等に努めている。

## 他団体へのアドバイス

図書館、公民館、子育て支援センター等を一か所に集約することにより、市民の利便性が上がるとともに、各団体の連携によりイベントを企画し易いというメリットがある。更に企画したイベントにも多くの参加を見込むことができる。



中・高校生の交流の場「青少年育成プラザ」